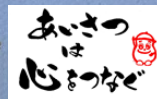


時計台通信



10月②

最高の笑顔—コロナ禍で生まれた新しい価値—

運動会のスローガンと言えば「全力」「協力」「団結」「勝利」「金メダル」などが常套句です。今年度の七区小学校のスローガンは、運動会に「笑顔」。運営委員会の子どもたちが考え出した運動会の新しい価値でした。スローガン通り、9月26日（土）運動会の日には、子どもたちのたくさんの笑顔が見られました。それは、照れ笑いでなく、勝利の笑顔でもなく、ただただ走る、跳ぶ、仲間と共に活動することの喜びを表した笑顔でした。まさに「最高の笑顔」でした。コロナ禍の今、状況は子どもたちにとってはマイナスのことばかりです。しかし、このマイナスの状況から七区小の子どもたちは運動会の新しい価値を創り出しました。マイナスからプラスを生み出す子どもたちを改めてすごいなと感じました。

1・2年 50周年だよ！ 全員ドラえもん

体全体を使って、友達といっしょに楽しくダナミックに踊りました。小さな1・2年生が、手足を伸ばして大きく踊る姿は、微笑ましく、踊る子どもたちとともに見る私たちも笑顔になりました。

2年 ななっこ宅急便

全力で走りきった2年生。勝敗にこだわらないすがすがしい笑顔が印象に残りました。

1年 心もつながれ！2人のわリングのバトンとともに「がんばって！」と励ます心もいっしょに、次の友達につなげていきました。



3・4年 快足！ ななっ子ライナー

体育の授業での学習をいかして、バトンゾーンを上手に使い、速く正確にバトンプラスができるようにがんばってきました。学習と練習の成果がしっかりと発揮されていましたね。



3・4年 七区から元気を！WA！輪！和！

「七区小唄」と「うらじゃ」を踊りました。七区小唄は、例年なら、保存会の方や地域の方にも入って踊っていただく一つのプログラムでした。しかし、今年度はコロナ禍でそれができませんでした。そこで3年生と4年生が、総合的な学習で七区小唄を学んだ経験をいかして、表現の演目に取り入れました。子どもたちがていねいに踊る姿を見て、七区小唄の踊りの美しさを再発見しました。もう一曲は「うらじゃ」。躍動感溢れる子どもたちの動きからたくさんの元気をもらいました。



5・6年 スーパーリレー ～走れ！ゴールめざしてつなげ！仲間との絆～

さすが高学年。バトンゾーンでの工夫に驚きました。後ろを振り向かずできるだけスピードにのった状態でバトンの受け渡しをする、内側が空いたらすぐ詰めて最短距離を走るようにする・・・しっかり考え練習してきたことがわかりました。中にはアンダーハンドパスを使っているチームもあって、その志はもう日本代表チームです。



5・6年 音楽に合わせて楽しく元気におどろう！！ 「Make you happy」＆「ソーラン節」

「『最高の笑顔で仲間と突き進もう』今年のスローガンを私たちはこんな風に表現します！」そんな5・6年生の声が聞こえてきそうな踊りでした。自分たちでつくる喜び、仲間と心が重なり合い一体となる喜び、ちょっとおおげさだけど、生きる喜びさえ、見る者に感じさせる踊りでした。さすがです。

